

【対話形式の問題】（難易度：やや難）

先生と生徒たちの会話を読んで、下線部に関する、後の問に答えなさい。

先生T「今回の試験範囲は“ヨーロッパ世界の形成と発展”だ。むずかしい所だからしっかり勉強しとけよ。」

生徒A「もともと世界史はむずかしいですよ(ブツブツ)。」

T「今日は時間が少し余っているから、復習の時間にしよう。」

生徒B「今回の試験範囲って、まずどんな世の中だったのか、イメージが全然つかめません。」

A「そもそも出来事の名前も変なのばかりですよ。“(1)ゲルマン人の大移動”とか、“(2)カールの戴冠”“(3)オットーの戴冠”とか、何か仰々しいんですよ。」

T「たしかに堅苦しい言葉が多いね。“(4)封建的主従関係”“(5)不輸不入権(インムニテート)”“聖職者階層制組織(ヒエラルヒー)”“聖職叙任権闘争”…こりゃ勉強する気にならんかなあ。」

B「“(6)教皇のバビロン捕囚”なんて意味わかんないです。バビロン行ってないですよ、教皇。」

T「はっはっは。たしかに。ところで、この時代を理解するためには、当時の人々をおおざっぱに“戦う人”、“祈る人”、“耕す人”の3つに分けて考えるとわかりやすいと言われる。この中で一番強いのは、誰だろう？」

A「そりゃ“戦う人”ですよ。」

T「そうだね。でもこの時代は、時に“祈る人”が“戦う人”を屈服させたこともあったでしょ。」

A「あっ。(7)1077年の“カノッサの屈辱”ですね。」

T「すごいね。年代までちゃんと覚えているじゃないか！」

A「この“屈辱”という表現が面白くて覚えちゃいました。」

T「さっきの“カールの戴冠”“オットーの戴冠”も、“戦う人”が“祈る人”に冠をかぶせてもらったんだよね。この時代は“祈る人”関連の語句が多いのが、堅苦しくなる一因だと思うよ。」

A「“祈る人”ってどういう人たちなんですか？」

T「キリスト教の聖職者たちのことだ。当時は今とは比べものにならないほど、キリスト教信仰が強く、教会や聖職者の権威が大きかった。でも(8)2つのキリスト教会が首位権を争っていて、結局1054年に両者は東西教会に分裂してしまったんだ。」

B「その約半世紀後の1096年に十字軍の遠征が始まったのか。なるほど。十字軍って単に(9)キリスト教徒対イスラーム教徒の対立とだけ見るのではなく、キリスト教内部の対立という側面からも理解できるんですね。」

T「そもそも十字軍の動機は宗教的情熱だけじゃないからね。経済的動機というか、戦利品や商業的利益を追求する面もあった。まあ結局、十字軍が失敗に終わったことで、ヨーロッパ中世世界は大きく様変わりすることになったんだ。」

A「(10)十字軍の宗教的・政治的・軍事的・文化的な影響は大きかったんですね。」

B「そういえば十字軍を描いた(11)『キングダム・オブ・ヘブン』という映画を見たことがあるな。イケメン俳優のオーランド=ブルームが出ていて、母親がキャーキャー言っていました。」

A「僕は中世の(12)修道院で起きた殺人事件を解決する修道士を描いた映画を見たことがあるよ。」

T「『薔薇の名前』だね。唯名論を唱え、のちの近代合理論の草分けにもなったイギリスのスコラ学者・修道士の(13)□□が殺人事件の犯人とその動機を解明していくという映画なんだけど、中世という時代の空気感をうまく表現しているんだ。2人ともいい映画見てるじゃないか。こりゃ次の試験、期待できそうだな。」

(問)

1. 最初に移動を開始し、最終的にイベリア半島に建国した一派を選びなさい。

ア 東ゴート人 イ 西ゴート人 ウ ヴァンダル人 エ ブルグント人

2. カールに戴冠した教皇を選びなさい。

ア レオ1世 イ レオ3世 ウ グレゴリウス1世 エ ボニファティウス8世

3. この出来事を起源として成立したとされる国家の 13 世紀以降の名称を選びなさい。
 ア 東ローマ帝国 イ 西ローマ帝国 ウ 神聖ローマ帝国 エ ローマ共和国
4. これに関連して述べた文章として、誤っているものを選びなさい。
 ア 血縁関係が重視された。 イ 1 人の家臣が複数の主君に仕えることもあった。
 ウ 土地を媒介とする関係であった。 エ 主君と家臣がともに契約にしばられた。
5. 一般的に、この権利(特権)を持っていたのは誰か、選びなさい。
 ア 国王・皇帝 イ 諸侯・騎士 ウ 商人・手工業者 エ 農民
6. これを行った国王を選びなさい。
 ア シャルル7世 イ シャルル8世 ウ フィリップ2世 エ フィリップ4世
7. 誰が(-1)、誰に(-2)“屈辱”を与えたのか、選びなさい。(ともに正解で○)
 ア ウルバヌス2世 イ インノケンティウス3世 ウ フリードリヒ2世
 エ ハインリヒ4世 オ カール4世 カ グレゴリウス7世
8. この2つの教会を選びなさい。(ともに正解で○)
 ア ローマ教会 イ アンティオキア教会 ウ イェルサレム教会
 エ アレクサンドリア教会 オ コンスタンティノーブル教会
9. これに関連して、北アフリカからイベリア半島を北上してきたイスラーム軍が、732 年、現在のフランスの地で、フランク王国を中心とする軍隊に敗れた戦いの名称を書きなさい。
10. 十字軍のヨーロッパに与えた影響について述べた文章として、誤っているものを選びなさい。
 ア イスラーム文化やビザンツ文化が流入した。
 イ 東方貿易が盛んになり、東方の知識が流入した。
 ウ 教皇権が衰退し、教会の改革運動が盛んになった。
 エ 傭兵の増加や火砲の普及により、国王の軍事力が低下した。
11. この映画は、第3回十字軍直前のイェルサレムを舞台としている。1187年にイェルサレムを奪還し、第3回十字軍と戦ったイスラーム教徒の君主(アイユーブ朝の建国者)は誰か。
12. これに関連して述べた文章として、誤っているものを選びなさい。
 ア シトー修道会はスペインにつくられ、大開墾運動の中心となった。
 イ ベネディクトゥスはモンテ=カシノに西欧最古の修道院を建てた。
 ウ フランチェスコ修道会やドミニコ修道会は托鉢修道会と呼ばれる。
 エ クリュニー修道院は「清貧・純潔・服従」などの戒律への回帰をかかげた。
13. あてはまる人名を選べ。
 ア アベラール イ トマス=アキナス
 ウ アンセルムス エ ウィリアム=オブ=オッカム

【解答例】

1	2	3	4	5	6	7	8
イ	ウ	ウ	ウ	イ	エ	カ・エ	ア・オ
9						10	11
トゥール・ポワティエ間の戦い						エ	サラディン
11	12						
ア	エ	(配点) 1～6は各1点 7～13は各2点 計20点					